

2024年4月15日

2024年度 郷土調査委員会事業計画

委員長 田口浩一郎(木曾町中)
副委員長 平原 稔久(日 義 中)
委 員 青野 緑(開 田 小)
塩原 咲耶(三 岳 小)
藤巻那奈子(王 滝 小)

1 本年度の事業概要

◎木曾教育会郷土館の資料の点検とその保存・活用を図る。

◎郷土木曾の歴史・文化財について、調査・見学をして研鑽を深めるとともに、会員にも学ぶ機会を提供する。

- (1) 郷土館・翠山所蔵品の点検および保存・活用
- (2) 郷土館内外の整理整頓
- (3) 「山の神」像の管理
- (4) 第55回郷土見学遠足の企画・運営
- (5) 文化財他機関との連携と協力
- (6) その他 教育会受け入れ書籍等の処理（受け入れ簿への記入・翠山への収納・図書室の整頓）

2 事業案立案の理由

委員会創設時の趣旨および、その後の経緯から資料の保存維持、郷土調査の研究、地域社会との連携を図り、委員会の活動を推進するため。

3 事業の視点の位置付け

- (1) 所蔵品の点検および保存・活用
 - ・所蔵品の保存、点検を行い、活用方法を検討していく。
- (2) 郷土館内外の清掃・環境整備 （7月29日(月)夏期大学前）
- (3) 「山の神」像の清掃・管理 （ 〃 ）
- (4) 第55回郷土見学遠足の企画・運営

郷土木曾の歴史・文化を会員が深く知ることができ、教育実践にも役立てられる企画としていく。見学場所は、北部→中部→西部→南部と実施している。参加は、郡内教職員、清音の会の皆さん、地域の皆さんにお伝えしている。木曾に初めて来られた先生方、

郷土の歴史・文化・産業などに興味をもっている先生方には、より参加を呼びかけたい。

29年度は、8月に北部で実施。30年度は、10月に開催日を戻し、木曽町黒川地区を中心に実施。令和元年度は、西部（開田・三岳地区）で実施。働き方改革の趣旨を踏まえ、夏休み開催、テキストの簡略化を行った。その後3年間は、コロナのため中止した。昨年度はコロナ対策をした上で南部で実施した。

今年度は、北部（木祖村）での実施を考えている。一応、感染対策を考えた見学場所や移動方法を検討し、実施できるように準備をしていきたい。

・期 日 令和6年 7月 24日（水）

・見学場所 木曽北部

（5）地域に関わる研究

「教材に使える文化財・施設の調査」

（6）その他

1）郷土見学遠足の募集については、6月21日に募集の通知を配付し、木曽郡内教職員の皆さんに広く周知し、興味をもって参加してもらえるようにし、募集締め切りを 7月5日とする。

2）パンフレットの作成については、見学場所に合わせて工夫をしていく。

4 事業日程の概要

4月15日（月） 事業計画の計画・立案（委員会①）

6月 4日（火） 郷土見学遠足の下見（委員会②）：木祖村方面

6月21日（金） 郷土見学遠足の募集発送

7月24日（水） 第55回郷土見学遠足（委員会③）：木祖村方面

7月29日（月） 郷土館の清掃・資料整理・「山の神」像の清掃（委員会④）

2月25日（火） 教育会受け入れ書籍等の処理（委員会⑤）：教育会館

（受け入れ簿への記入・翠山への収納・図書室の整理整頓）

郷土見学遠足の反省、活動のまとめ